

第50期第2四半期連結累計期間 決算説明資料

(2015年4月1日 ~ 2015年9月30日)

株式会社 **工ノモト**

【会社名】 株式会社 **工ノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 **JASDAQ**

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

【問合せ先】 経営企画部 久嶋光博

【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

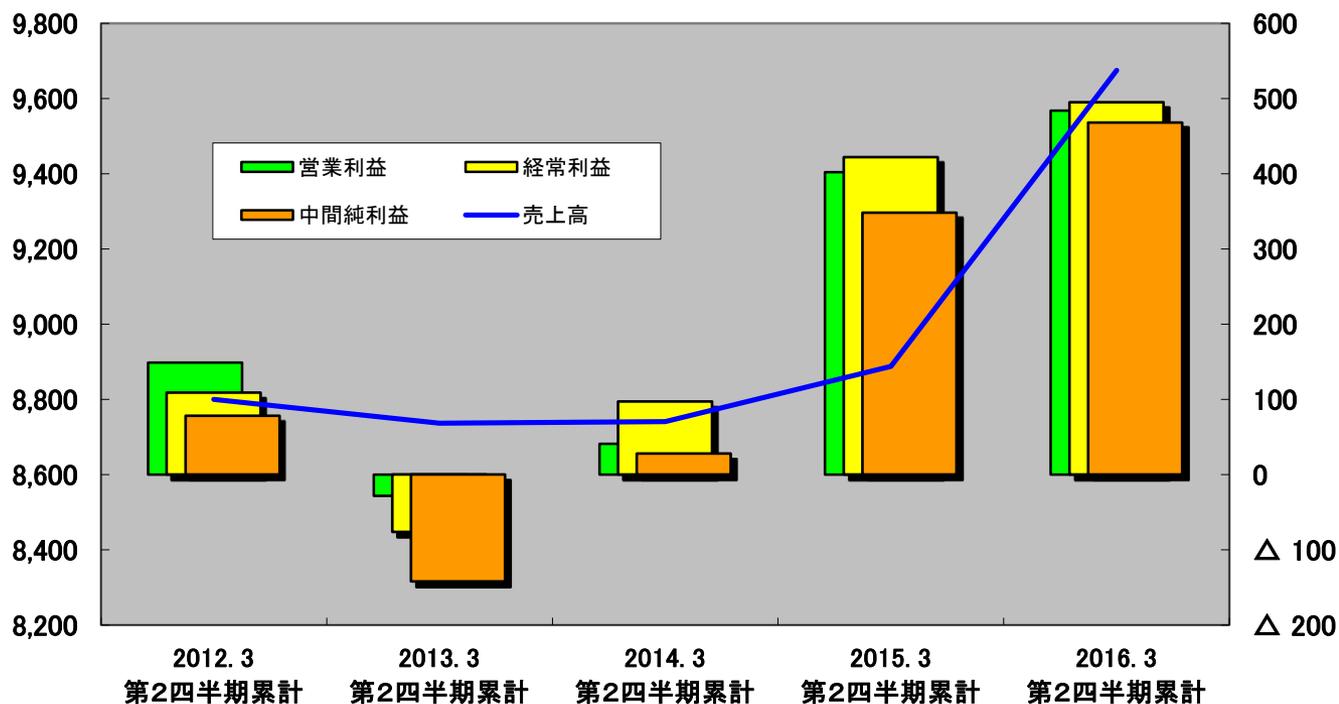
【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)

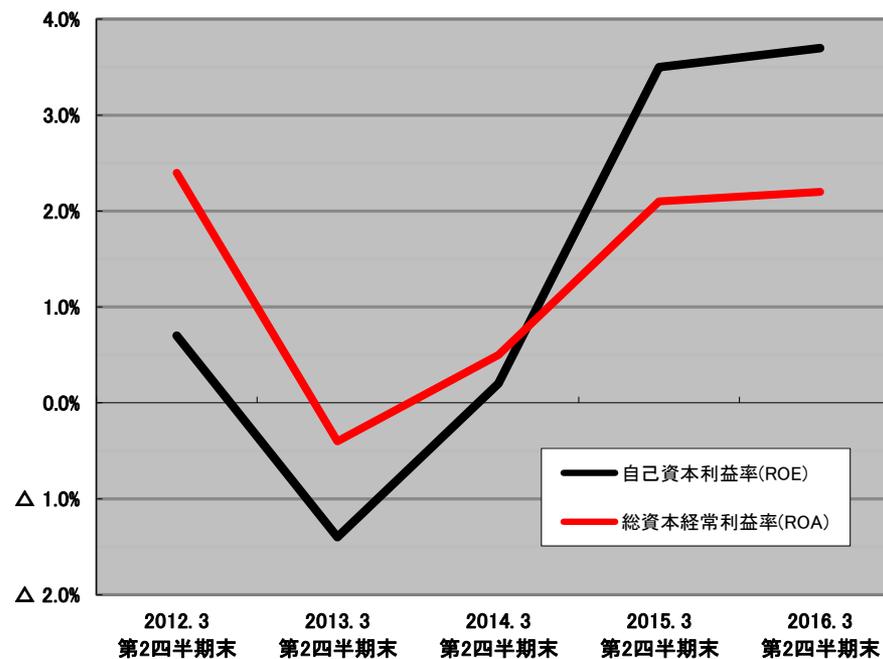
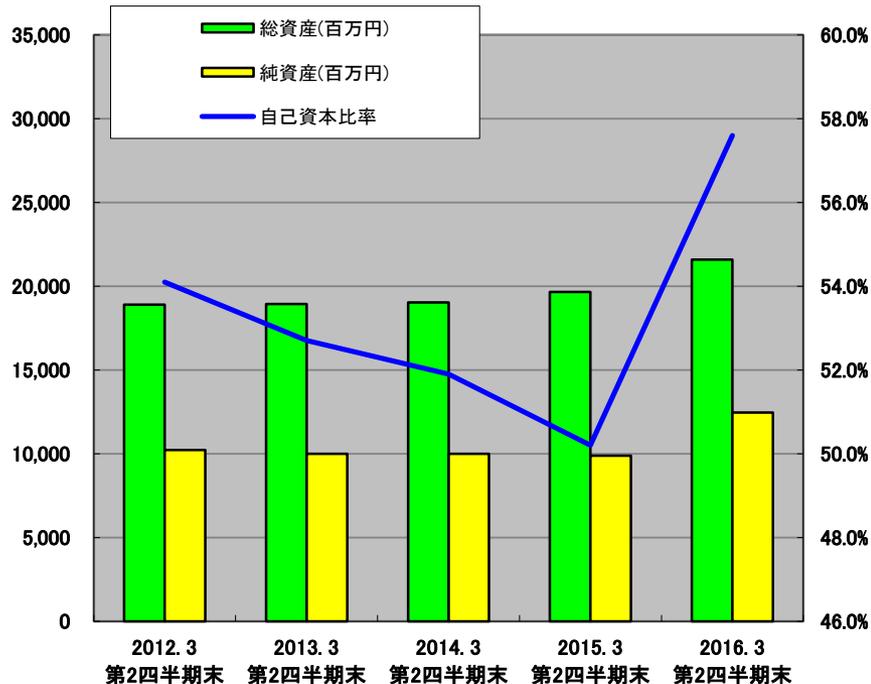


第2四半期連結累計
期間のご報告

百万円



	2012.3 第2四半期累計	2013.3 第2四半期累計	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	前期比
売上高	8,800	8,737	8,741	8,888	9,675	8.9%増
営業利益	149	△ 28	41	402	484	20.4%増
営業利益率	1.7%	—	0.5%	4.5%	5.0%	—
経常利益	109	△ 76	97	422	495	17.1%増
経常利益率	1.2%	—	1.1%	4.7%	5.1%	—
中間純利益	78	△ 142	28	348	468	34.6%増
中間純利益率	0.9%	—	0.3%	3.9%	4.8%	—



	2014. 3 第2四半期末	2015. 3 第2四半期末	2016. 3 第2四半期末	2014. 3期末	2015. 3期末
総資産	19,037	19,660	21,587	19,089	21,532
純資産	9,986	9,884	12,449	9,618	11,894
自己資本比率	51.9%	50.2%	57.7%	50.4%	55.2%
自己資本利益率(ROE)	0.2%	3.5%	3.7%	-7.4%	10.0%
総資本経常利益率(ROA)	0.5%	2.1%	2.2%	0.5%	5.3%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気回復軌道への緩やかな復帰は持続しているものの、個人消費や輸出の低迷などによる市場の在庫調整の遅れが、生産を抑制する局面となっております。

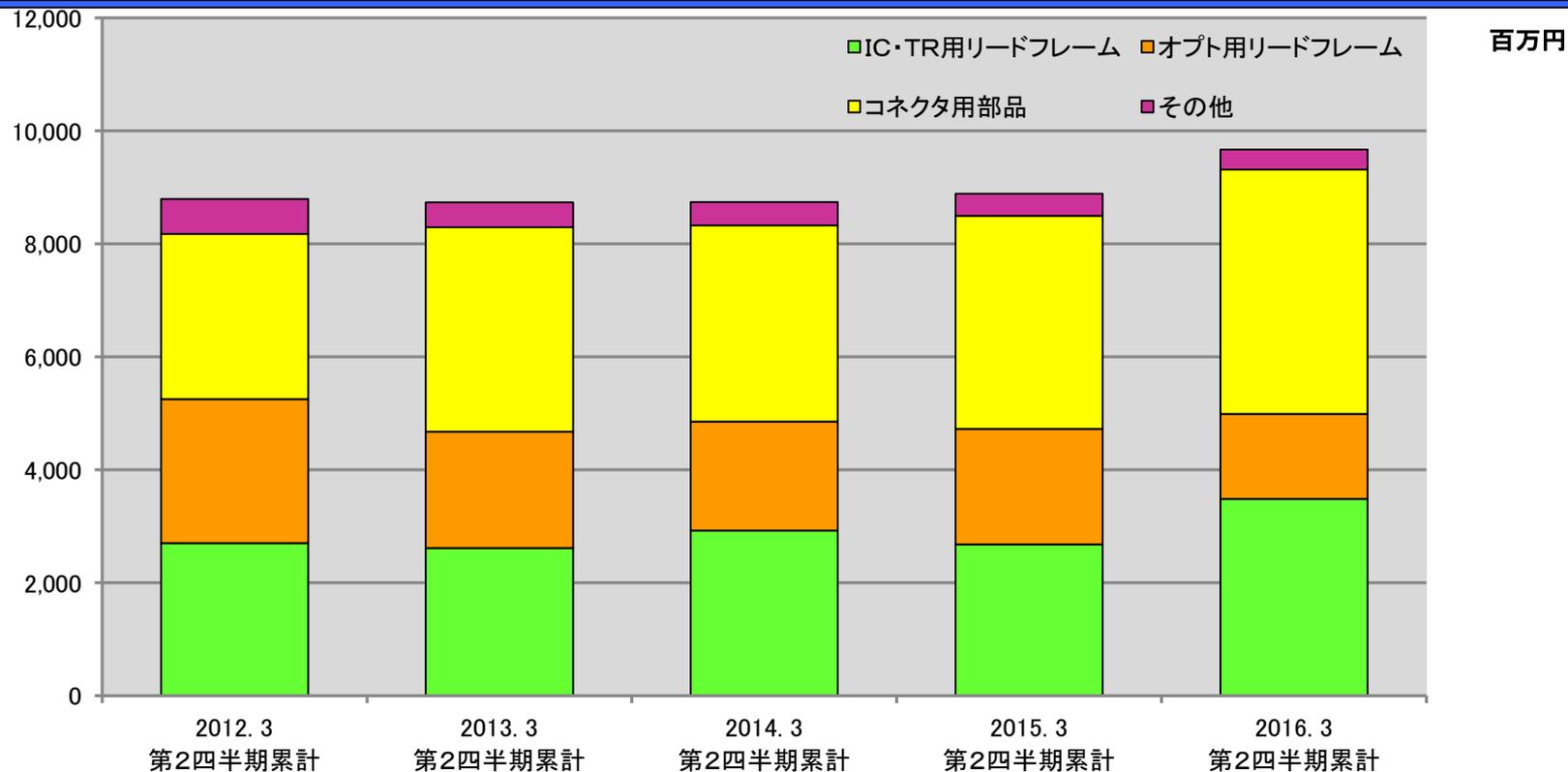
海外においては、アメリカ経済は雇用環境の改善傾向が続き、住宅を含む個人消費について堅調な回復基調を示しておりますが、ドル高と新興国需要の減速による輸出の伸び悩みから、製造業の低迷が鮮明になりつつあります。ヨーロッパ経済ではドイツやイギリスが引き続き堅調な成長を見せており、スペインなどでも雇用環境の改善が見られていることから、緩やかな景気回復基調にあります。中国経済においては、資源国・新興国の景気減速による輸出の鈍化から、回復の目途が立たない状況となっております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車部品の電装化率の上昇を追い風に、大幅な受注増を期待しておりましたが、自動車の販売台数の伸び悩みにより、自動車向け部品の受注は、当社の予想値に達しませんでした。また、ウェアラブル端末やハイエンドスマートフォン向けの部品については、引き続き好調を維持しておりますが、新モデルの販売台数の予測が難しく、今後の動向について注視が必要な状況です。

このような状況下、当社グループは、徹底的な業務の見直しによる効率化と更なる技術の研鑽により、高付加価値製品の開発に積極的な投資を進めて参りました。

その結果、当連結会計年度の売上高は96億7千5百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。また、営業利益は4億8千4百万円(同20.4%増)、経常利益は4億9千5百万円(同17.1%増)、当期純利益は4億6千8百万円(同34.5%増)となりました。

■製品群別業績(売上高)



	2012.3 第2四半期累計	2013.3 第2四半期累計	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計
IC・TR用リードフレーム	2,703	2,617	2,923	2,679	3,487
オプト用リードフレーム	2,550	2,058	1,932	2,045	1,505
コネクタ用部品	2,920	3,621	3,472	3,773	4,326
その他	625	439	413	390	355
	8,800	8,737	8,741	8,888	9,675

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車部品の電装化率の上昇により、受注が増加いたしました。

その結果、当製品群の売上高は34億8千7百万円(前年同四半期比 30.1%増)となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。中国市場向けの大型ディスプレイ用部品の受注が、大幅に予測を下回りました。

その結果、当製品群の売上高は15億5百万円(同26.4%減)となりました。

③ コネクタ用部品

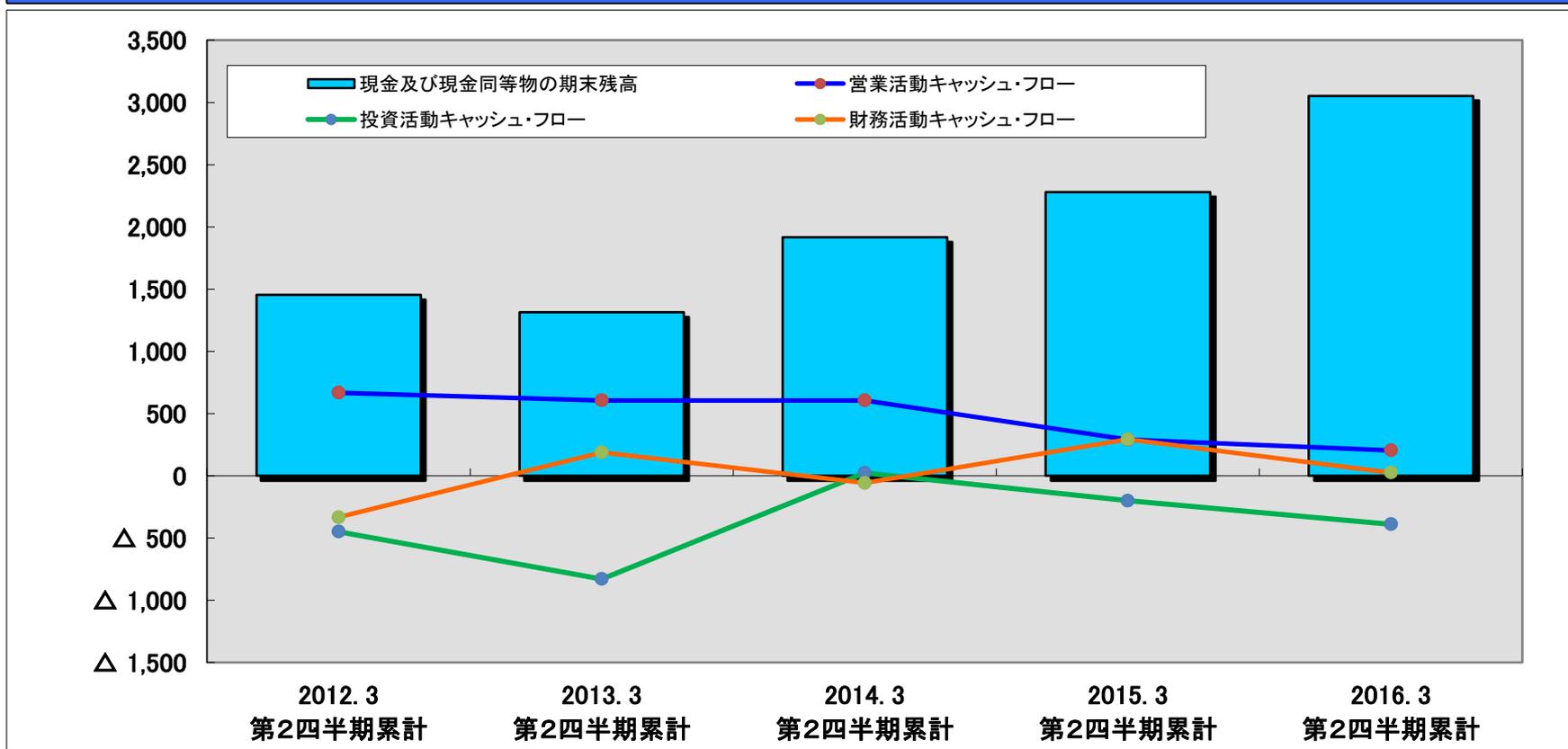
当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、ハイエンドスマートフォン向け部品の受注が好調に推移しております。

その結果、当製品群の売上高は43億2千6百万円(同14.7%増)となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。

当製品群の売上高は3億5千5百万円(同8.9%減)となりました。



	2014. 3 第2四半期累計	2015. 3 第2四半期累計	2016. 3 第2四半期累計	前期比	2014.3期末	2015.3期末
営業活動キャッシュ・フロー	606	291	205	29.5%減	948	1,666
投資活動キャッシュ・フロー	24	△200	△389	93.9%増	△94	△15
財務活動キャッシュ・フロー	△57	293	26	90.8%減	△326	△702
現金及び現金同等物の期末残高	1,916	2,280	3,052	33.8%増	1,953	3,182

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末に比べ7億7千1百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には30億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

➤営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2億5百万円(前年同四半期比29.5%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益5億6百万円、減価償却費4億8千1百万円及び退職給付に係る資産の減少2億7百万円による資金の増加、仕入債務の減少5億7千4百万円及び法人税等の支払1億4千3百万円による資金の減少であります。

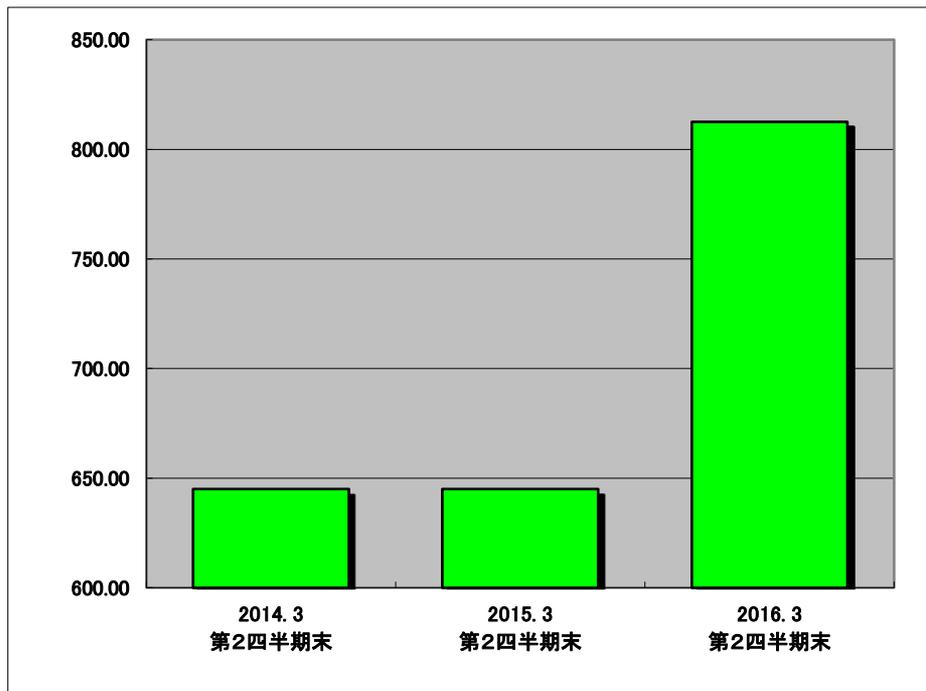
➤投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3億8千9百万円(同93.9%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億7千4百万円、有形固定資産の売却による収入1億6百万円であります。

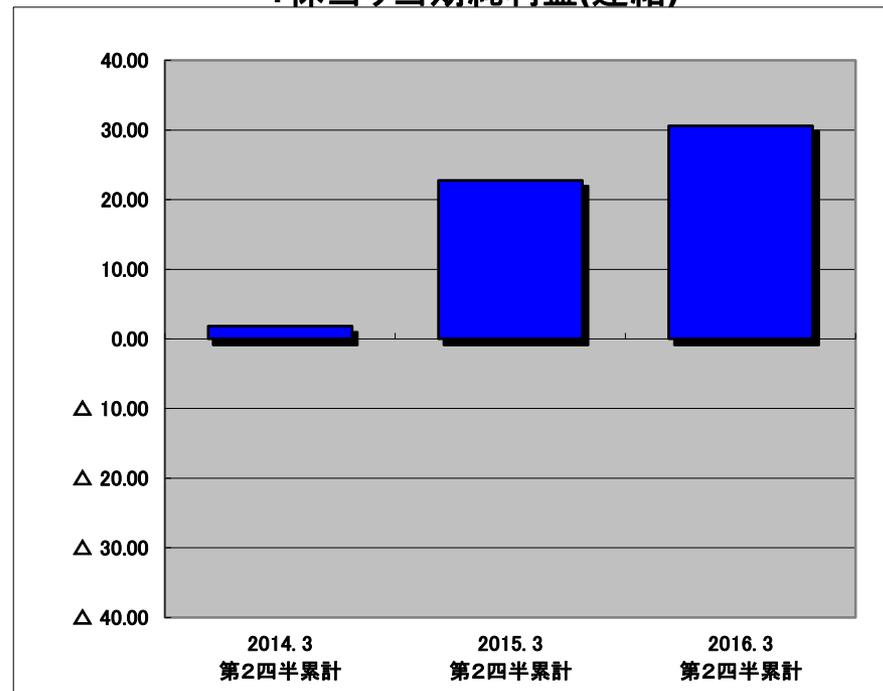
➤財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は2千6百万円(同90.8%減)となりました。これは主に短期借入金2億5千万円の純増額及び長期借入金2億1千万円の返済によるものであります。

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)



	2014. 3 第2四半期累計	2015. 3 第2四半期累計	2016. 3 第2四半期累計	2014. 3期末	2015. 3期末
1株当り純資産(連結)	645.00	645.04	812.51	627.66	776.22
1株当り当期純利益(連結)	1.83	22.72	30.57	-46.58	77.64

○配当について

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、利益配分を安定かつ継続的に実施することを重視し、利益水準や配当性向などを総合的に判断して、適切な利益配分を行っていくことを基本方針としております。

当期の第2四半期末配当金につきましては、当社グループの業績は回復基調にありますが、未だ提出会社単体では配当原資である利益剰余金を確保するに至っておらず、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

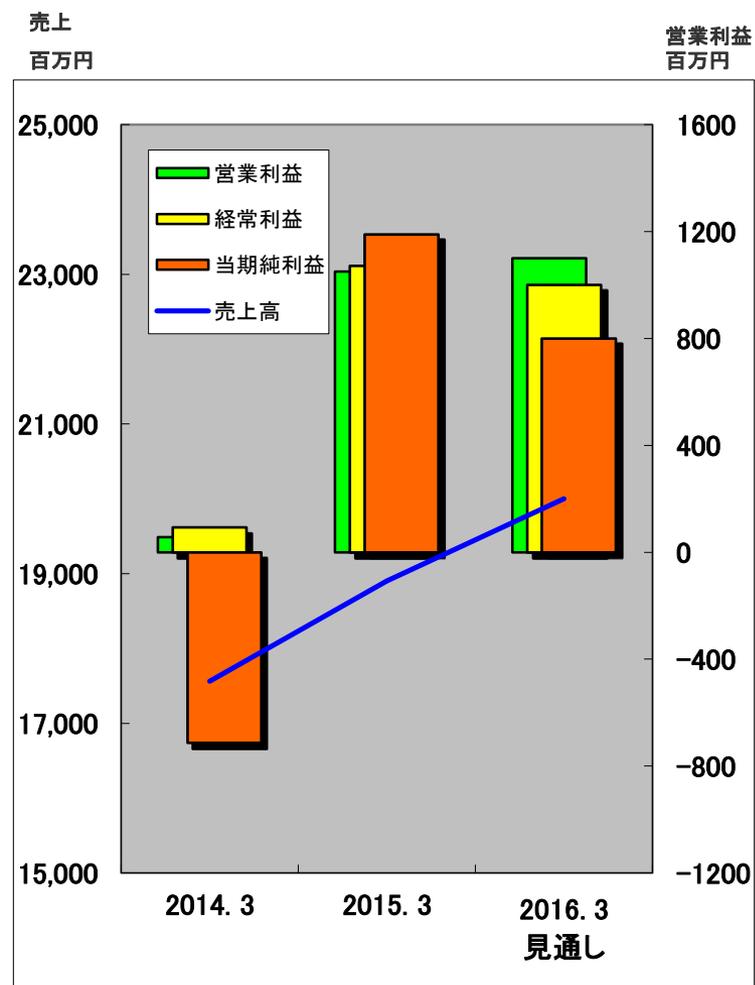
株主の皆様には深くお詫びを申し上げるとともに、可能な限り早期に復配できるように努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年3月期
の見通し

■通期業績予想(連結)

百万円

	2014. 3	2015. 3	2016. 3 見通し	前期比
売上高	17,563	18,903	20,000	5.8%増
営業利益	57	1,050	1,100	4.7P増
営業利益率	0.3%	5.6%	5.5%	0.1P減
経常利益	93	1,072	1,000	6.8%減
経常利益率	0.5%	5.7%	5.0%	0.7P減
当期純利益	-713	1,189	800	32.8%減
当期純利益率	-	6.3%	4.0%	2.3P減



今後の見通しにつきましては、原材料価格や為替の変動、最終製品の販売状況による受注の急激な増減、中国経済の減速による需要の低下、自動車需要の低調といった懸念材料が存在しているものの、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定どおりに推移しており、通期の業績につきましては、平成27年5月8日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

補足資料

中期経営方針

経営品質の向上と
新たな価値の創造

2015年度
経営重点テーマ

“楽”への挑戦

～楽しく働き、
楽になるための工夫をする～

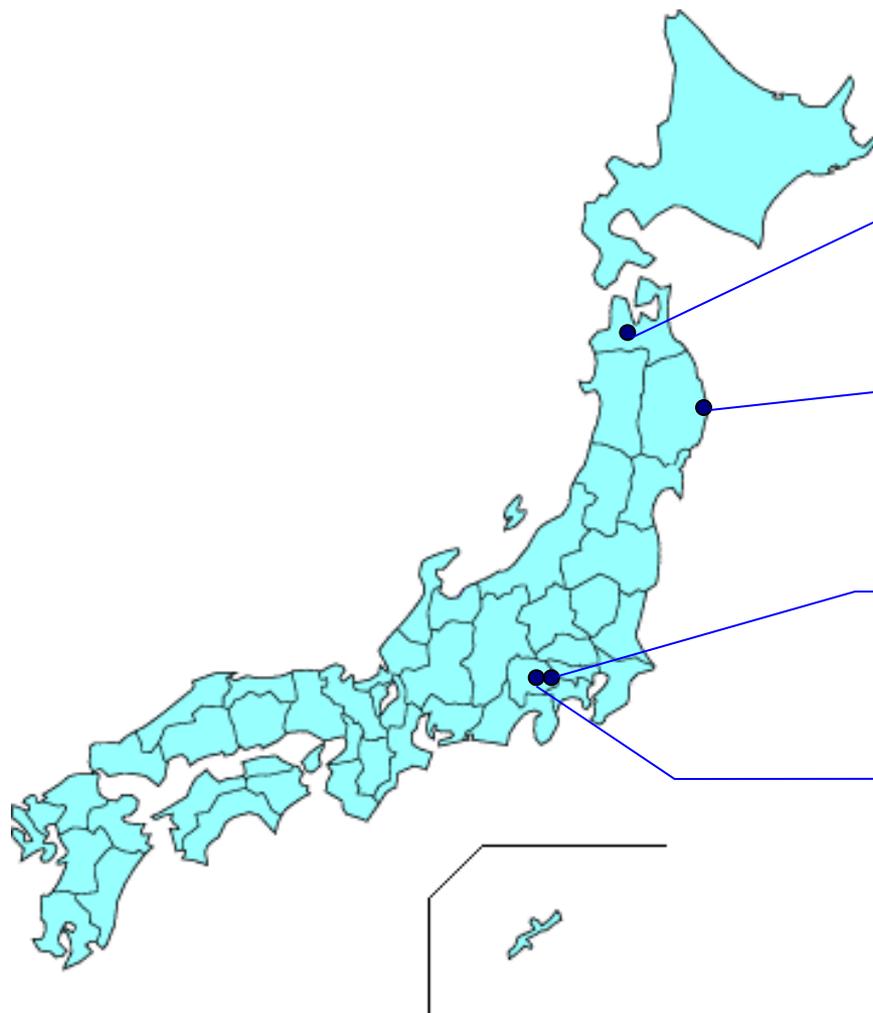
2011年度より5カ年の中期経営方針として『経営品質の向上と新たな価値の創造』を掲げ、今後わが社がグローバルに発展し、【高技術】【高効率】【高収益】の企業グループへ脱皮するための改革を全社レベルで推進しております。





当社グループが対処すべき課題として、事業構造改革の継続を掲げております。組織改革が一定の効果を上げたことにより、業績の回復と成長軌道への回帰の道筋が開けた段階である現在、次の段階としてソフトの部分の改革が不可欠となっております。

経営方針の5年目にあたる2015年度の経営重点課題としては、「“楽”への挑戦」を掲げました。すべての旧態依然とした業務を徹底的に見直し、より効率的＝「楽」に業務を遂行し無駄な費用や時間の浪費を削減することで、生産効率・品質管理の改善を図り、従業員が今まで以上にものづくりの「楽しさ」を感じられる、更に上のレベルの意識を持った企業体質への転換を図ります。



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

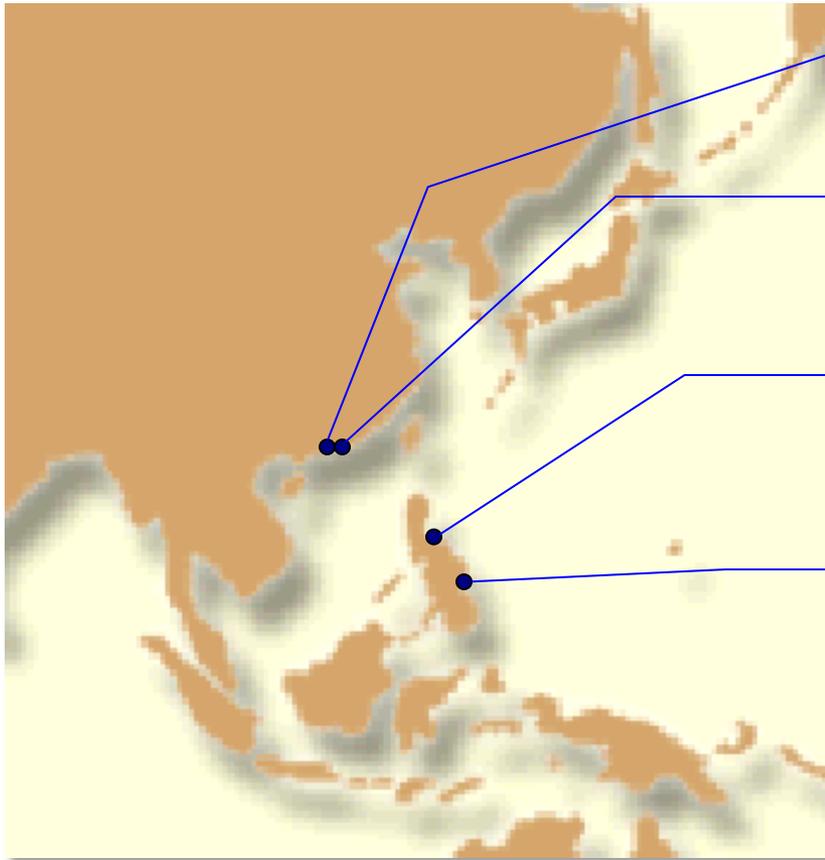
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park, Javalera, General Trias, Cavite, Philippine
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
CEBU OPERATIONS
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road,
Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

ENOMOTO Co.,Ltd.